

Autodesk® Moldflow® Insight 2011

# インストレーションガイド

Autodesk®

リビジョン 4, 2010 年 2 月 17 日.

**Autodesk® Moldflow® Insight**

**© 2010 Autodesk, Inc. All rights reserved.**

Autodesk, Inc.社の許諾を得ることなく、本ドキュメントのいかなる部分といえども、その目的を問わず、いかなる形式または手段でも複製することは禁じられています。本ドキュメントに記載される特定のマテリアルは、著作権所有者の許諾を得た場合に限り、再版されます。

本ソフトウェアの一部に FLEXnet Publisher ©2009 Acrecco Software Inc. and/or InstallShield Co. Inc を使用しています。

本ソフトウェアの一部に Qt を使用しています。Copyright © 2009 Nokia Corporation and/or its subsidiary(-ies). All rights reserved. お問い合わせ先: Qt Software Information (qt-info@nokia.com)。

本ソフトウェアの一部に QAxContainer を使用しています。Copyright © 2009 Nokia Corporation and/or its subsidiary(-ies). All rights reserved. お問い合わせ先: Qt Software Information (qt-info@nokia.com)。

## 商標

3DEC (design/logo)、3December、3December.com、3ds Max、Algor、Alias、Alias (swirl design/logo)、AliasStudio、Alias|Wavefront (design/logo)、ATC、AUGI、AutoCAD、AutoCAD Learning Assistance、AutoCAD LT、AutoCAD Simulator、AutoCAD SQL Extension、AutoCAD SQL Interface、Autodesk、Autodesk Envision、Autodesk Intent、Autodesk Inventor、Autodesk Map、Autodesk MapGuide、Autodesk Streamline、AutoLISP、AutoSnap、AutoSketch、AutoTrack、Backburner、Backdraft、Built with ObjectARX (logo)、Burn、Buzzsaw、CAICE、Civil 3D、Cleaner、Cleaner Central、ClearScale、Colour Warper、Combustion、Communication Specification、Constructware、Content Explorer、Dancing Baby (image)、DesignCenter、Design Doctor、Designer's Toolkit、DesignKids、DesignProf、DesignServer、DesignStudio、Design Web Format、Discreet、DWF、DWG、DWG (logo)、DWG Extreme、DWG TrueConvert、DWG TrueView、DXF、Ecotect、Exposure、Extending the Design Team、Face Robot、FBX、Fempro、Fire、Flame、Flare、Flint、FMDesktop、Freewheel、GDX Driver、Green Building Studio、Heads-up Design、Heidi、HumanIK、IDEA Server、i-drop、ImageModeler、iMOUT、Incinerator、Inferno、Inventor、Inventor LT、Kaydara、Kaydara (design/logo)、Kynapse、Kynogon、LandXplorer、Lustre、MatchMover、Maya、Mechanical Desktop、Moldflow、Moonbox、MotionBuilder、Movimento、MPA、MPA (design/logo)、Moldflow Plastics Advisers、MPI、Moldflow Plastics Insight、MPX、MPX (design/logo)、Moldflow Plastics Xpert、Mudbox、Multi-Master Editing、Navisworks、ObjectARX、ObjectDBX、Open Reality、Opticore、Opticore Opus、Pipeplus、PolarSnap、PortfolioWall、Powered with Autodesk Technology、Productstream、ProjectPoint、ProMaterials、RasterDWG、RealDWG、Real-time Roto、Recognize、Render Queue、Retimer、Reveal、Revit、Showcase、ShowMotion、SketchBook、Smoke、Softimage、Softimage|XSI (design/logo)、Sparks、SteeringWheels、Stitcher、Stone、StudioTools、ToolClip、Topobase、Toxik、TrustedDWG、ViewCube、Visual、Visual LISP、Volo、Vtour、Wire、Wiretap、WiretapCentral、XSI、および XSI (design/logo) は、Autodesk Inc.社および/またはその子会社および/または関連会社の、米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。

## 免責事項

本ドキュメントおよび記載される情報は AUTODESK, INC. 社により、「現状のまま」で提供されるものとします。AUTODESK, INC. 社は、明示、黙示を問わず、特に所有権の非侵害、商品性又は特定目的への適合性についての黙示的保証を含め、その他本ドキュメントおよび記載される情報に対する一切の保証をいたしません。

# 目次

第 1 章:	<b>Windows システムへのインストール</b> ..... 1
	サポート Windows プラットフォーム..... 1
	Windows プラットフォームのシステム仕様..... 2
	Windows でのハードウェア要件..... 2
	ディスク容量要件..... 2
	グラフィックス要件..... 3
	GPU カード..... 4
	Windows でのメモリ要件..... 4
	ソフトウェアをインストールする前に..... 5
	すべての Autodesk Moldflow プログラムの終了..... 5
	Autodesk Moldflow Insight プレリリース バージョンのアンインストール..... 5
	言語パッチ..... 6
	インストール ディスクからの Autodesk Moldflow Insight のインストール..... 6
	Autodesk License Manager (Moldflow) のインストール..... 7
	コマンド ライン インストール..... 7
	コマンド ラインを使用したインストール ディスクからのインストール..... 7
	Autodesk Moldflow Insight コマンド ライン インストールのオプション..... 8

第 2 章 :	<b>Linux システムへのインストール</b> .....	10
	サポート Linux プラットフォーム.....	10
	Linux プラットフォームのシステム仕様.....	10
	Linux で必要なサブシステムとシステム パッチ.....	11
	Linux でのハードウェア要件.....	11
	ディスク容量要件.....	12
	ソフトウェアをインストールする前に.....	12
	ジョブ マネージャへのアクセス.....	12
	システム バックアップの実行.....	12
	すべての実行中のジョブの停止.....	13
	すべての Autodesk Moldflow プログラムの終了.....	13
	Autodesk Moldflow Insight ソルバーがインストール済みであるかの確認.....	13
	Autodesk Moldflow Insight 2011 のプレリリースのアンインストール.....	13
	Linux に Autodesk Moldflow Insight ソルバーをインストールする場合の準備作業.....	14
	ローカル インストール.....	14
	ネットワーク インストール.....	17
	Linux への Autodesk Moldflow Insight ソルバーのインストール.....	19
	Autodesk License Manager (Moldflow) のインストール.....	21
	ファイル サーバーを利用したクライアント マシンの設定.....	21
	各ユーザーの環境設定.....	22
第 3 章 :	<b>ライセンス</b> .....	24
	ライセンス機能.....	24
	ライセンス サーバーの設定.....	25
	ライセンス キーの取得.....	25
	新規ライセンス サーバーの設定.....	27
	既存ライセンス サーバーへの新規ライセンスのインストール.....	29
付録 A :	<b>ライセンス補足情報</b> .....	31
	シリアル番号.....	31
	適切なサーバー ID の検出.....	32
	ライセンス ファイルの統合.....	33
	Autodesk License Manager (Moldflow) サーバー/クライアント モデル.....	34
	ヘルプ情報の取得.....	35

付録 B:	<b>最低限のライセンス要件</b> .....	36
-------	--------------------------	----



# Windows システムへのインストール

# 1

Autodesk Moldflow Insight をインストールする前に、ご使用のプラットフォームとハードウェアがサポートされているか確認してください。

## サポート Windows プラットフォーム

表 1: サポート Windows プラットフォーム

オペレーティング システム	サービス パック
Windows 7 (32 ビット版) Professional、Enterprise、Ultimate	
Windows 7 (64 ビット版) Professional、Enterprise、Ultimate	
Windows Vista (32 ビット版) Business、Enterprise、Ultimate	SP 1
Windows Vista (64 ビット版) Business、Enterprise、Ultimate	SP 1
Windows XP Professional (32 ビット版)	SP 3
Windows XP Professional (64 ビット版)	SP 2
Windows Server 2003 (64 ビット版)	SP1
Windows Server 2008 (64 ビット版)	SP1

## Windows プラットフォームのシステム仕様

表 2: Windows プラットフォームで Autodesk Moldflow Insight を実行する場合のハードウェアおよびソフトウェアの最小仕様と推奨仕様

システム コンポーネント	最小	推奨
メイン メモリ (RAM)	1 GB	2 GB 以上
仮想メモリ/スワップ容量	500 MB	2 GB 以上
ディスク容量	2 GB	4 GB 以上
CPU 速度	1 GHz	2 GHz 以上
ウェブ ブラウザ	Internet Explorer 7	

## Windows でのハードウェア要件

- DVD-ROM ドライブ
- イーサネット カード

Autodesk Moldflow Insight のソフトウェア セキュリティは、ネットワーク経由でライセンス キーの要求と取得を行います。ライセンス サーバーを一意的に識別するためにネットワーク ハードウェアを使用します。このため、Autodesk Moldflow Insight を実行するすべての PC で有効なイーサネット カードが必要となります。

## ディスク容量要件

Autodesk Moldflow Insight で必要となるディスク容量は、実行する解析によって異なります。Windows プラットフォームで Autodesk Moldflow Insight ソフトウェアに割り当てる推奨ディスク容量は 365 MB です。

**注:** インストール処理中は、インストール サイズの約 2 倍のディスク容量が必要となります。

Autodesk Moldflow Insight の通常のプロジェクトで要求されるディスク容量は、実行する特定の解析およびモデルのサイズによって異なります。

表 3: 標準的な Autodesk Moldflow Insight 解析のディスク容量要件

解析順序	解析テクノロジー	プロジェクトディレクトリで要求されるディスク容量 (概数)
充填+保圧 (20,000 要素モデル)	Midplane	100 MB
充填+保圧+冷却	Midplane	300 MB
充填+保圧+冷却+反り	Midplane	400 MB
充填+保圧 (20,000 要素モデル)	Dual Domain	450 MB
充填+保圧 (300,000 四面体モデル)	3D	900 MB
充填+保圧+冷却	3D	1000 MB <sup>1</sup>

## グラフィックス要件

グラフィックス デバイスおよびドライバーに関する情報です。

- SVGA または同等の 1,600 万色グラフィックス カード、最低解像度 1280 X 1024
- 512 MB 以上のグラフィックス メモリを推奨。カードの最新ドライバをインストールしてください。ドライバーおよびインストール手順に関しては、カード製造元のウェブサイトを参照してください。

**注:** Autodesk は Autodesk Moldflow 製品と特定のグラフィックス カードの組合せに対して、動作保証を行っておりません。

Autodesk は特定のカードと当社のソフトウェアの組合せで生じる可能性のある全ての問題の解決を、カード製造元と協力し全力で取り組んでいます。ただし、グラフィックス関連のすべての問題の修正については保証できません。これは、Autodesk Moldflow ソフトウェアではなくカード製造元のドライバに問題がある場合があるためです。

## 推奨

Autodesk Moldflow ソフトウェアは OpenGL とテクスチャ マッピングを広範に使用しているため、OpenGL のアクセラレータおよびテクスチャメモリを提供するデバイスを使用するとパフォーマンスが向上します。

<sup>1</sup> すべての 3D 冷却解析は、一時ディレクトリに大量のディスク容量が必要です。

## GPU カード

Autodesk Moldflow Insight ソフトウェアでは GPU (グラフィックス プロセッシング ユニット) を活用して、解析時間を改善できます。

GPU テクノロジを使用することで、次のような利点があります。

**CPU 負荷の低減** GPU カードには内臓メモリーがあり、複雑なシミュレーションを計算する能力があります。GPU の追加の内臓処理能力により、CPU への高負荷が緩和され、アプリケーションの実行速度が速くなります。

**解析時間の短縮** このソフトウェアでは GPU カードの CUDA テクノロジによる処理能力を活用できます。これにより、解析実行が高速化し、解析時間が短縮されます。非常に大規模なモデルでは、解析時間が数時間短縮できます。

**データ並列計算の効果的な使用** GPU および Autodesk の並列ソルバーの使用により、相乗効果が得られます。GPU と Autodesk の並列ソルバーを一緒に使用することで、さらに解析速度が改善できます。

このソフトウェアではデフォルトで互換性のある GPU カードを自動検出し、検出された場合には使用します。

[ソルバー パラメータ] ダイアログ ボックスで自動 GPU カード検出をオフにすることができます。現在のところ、GPU テクノロジは 3D 流動解析 (3D 連成ソルバー) のみでサポートされています。

### 互換性のあるグラフィックス カード

互換性のあるグラフィックス カードがインストールされている場合にのみ、GPU テクノロジによる速度の改善が実現できます。

インストールしている GPU カードに互換性があるかを確認するには、カードメーカーが提供する仕様を確認してください。

最低限のハードウェア要件は、倍精度 (64 ビット浮動小数点) 演算能力を有する CUDA 対応カードです。この要件を満たすカードは、CUDA Compute Capability 1.3 またはそれ以上となります。

### サポートされているオペレーティングシステム

GPU テクノロジは、サポート対象のすべての 32 ビットおよび 64 ビットシステムの Windows オペレーティング システムで利用可能です。

## Windows でのメモリ要件

Windows マシン上で反り解析を効果的に実行するには、十分な連続したメモリ ブロックが必要です。

例えば、2 GB のメモリが必要な反り解析を実行する場合、最低 2 GB サイズのメモリ ブロックが必要です。

Windows は、まず RAM 内のメモリをチェックします。十分な RAM がない場合、次に Windows は ページング ファイル (ハード ディスク) をチェックします。マシン上に十分な連続したメモリ ブロックがない場合、メモリ不足のため解析は失敗します。この問題は、ページング ファイルのサイズを増加させることで、解消できることがあります。

## ソフトウェアをインストールする前に

Autodesk Moldflow Insight のインストール中に障害が発生しないようにするには、いくつかの初期作業を行う必要があります。

### すべての Autodesk Moldflow プログラムの終了

Autodesk Moldflow Insight のインストール開始前に、実行中のすべての Autodesk Moldflow プログラムを終了します。

これで、インストール中に「ファイルが使用中」というエラーが発生しなくなります。

### Autodesk Moldflow Insight プレリリース バージョンのアンインストール

現在のマシンに、Autodesk Moldflow Insight のプレリリース バージョンが以前にインストールされている場合、インストールを行う前に、アンインストールすることを強く推奨します。

以前にインストールされているプレリリース バージョンがあるかを確認するには、コントロールパネルを開き ([スタート]>[コントロール パネル])、[プログラムの追加と削除] をダブルクリックして、Autodesk Moldflow Insight 2011 という名前のプログラムを探します。

Autodesk Moldflow Insight のプレリリース バージョンをアンインストールするには、まず、マシンで現在実行中のすべてのプログラムを終了します。

- 1 **cleanreg.exe** コマンドを実行します。このコマンドは、プレリリースバージョンがインストールされている **bin** フォルダにあります(通常、**C:\Program Files\Autodesk\Moldflow Insight xxxx\bin**)。これで、プレリリース バージョンに関連したレジストリ エントリがすべて削除されます。
- 2 Windows でコントロールパネルを再度開きます。[プログラムの追加/削除] を選択します。Autodesk Moldflow Insight 2011 を選択し、[削除] をクリックして、アンインストール処理を起動します。

- 3 コンピュータを再起動してソフトウェアのアンインストールを完了します。

## 言語パッチ

言語パッチをインストールする前に、この製品の英語版をインストールする必要があります。

## インストールディスクからのAutodesk Moldflow Insightのインストール

Autodesk Moldflow Insight のインストール ウィザードの手順に従ってインストールを実行できます。

- 1 管理者権限のあるアカウントを使ってログインします。
- 2 実行中のすべてのプログラムを終了します。
- 3 Autodesk Moldflow 2011 DVD を DVD ドライブに挿入します。  
PC で自動再生機能が有効になっている場合は、[Autodesk Moldflow 2011] DVD メニューが自動的に表示されます。有効になっていない場合は、DVD の **cdstartup** フォルダに移動して、**cdstartup.exe** をダブルクリックします。
- 4 **[Autodesk Moldflow Insight 2011]** をクリックして、インストール項目選択画面まで移動します。
- 5 **[Install Autodesk Moldflow Insight 2011]** をクリックして、セットアップウィザードを開始します。  
[Setup—Autodesk Moldflow Insight] ページが表示されます。
- 6 セットアップ ウィザードの手順に従います。

製品インストール中に、Autodesk License Manager (Moldflow) をインストールする必要があります。この処理はセットアップウィザードによって自動的に開始します。

---

**注:** クライアントとサーバーを異なるマシンにインストールする場合は、マシン間にネットワーク接続があり、クライアントとサーバーがポート 6014 で TCP/UDP を介して通信できることを確認します。Windows でポートを開く方法に関しては、<http://www.autodesk.com/adlm-help-jp> を参照してください。

---

**注:** \*.ipt ファイルを Autodesk Moldflow 2011 製品に正常にインポートするには、Autodesk® Inventor® View 2011 または Autodesk® Inventor® 2011 のいずれかをインストールしておく必要があります。Autodesk Inventor View 2011 はインストレーション ディスクに搭載されています。インストールメ

ニューから選択して別途インストールするか、  
www.autodesk.com/inventorview からダウンロードできます。

---

## Autodesk License Manager (Moldflow) のインストール

すべてのライセンスを必要とする製品では、Autodesk License Manager (Moldflow) クライアントソフトウェアのインストールが必要です。Autodesk License Manager (Moldflow) のインストールは、クライアント製品のインストール完了後に自動的に開始します。このソフトウェアのスタンドアロンインストールをする場合は、Autodesk Moldflow 2011 DVD メニューから直接実行できます。

インストール前に「ソフトウェアをインストールする前に」を確認して、クライアントのみ、またはクライアントとサーバー両方をインストールするかを決定しておきます。初回インストールの場合、ライセンス サーバーのホスト名または IP アドレスを確認しておく必要があります。

---

**注:** クライアントとサーバー ソフトウェア両方をインストールする場合、127.0.0.1 をサーバー アドレスとして使用できます。

---

サーバーをインストールする場合、ライセンス キーの登録など、サーバーの起動および実行するために必要な設定作業がいくつかあります。

## コマンドラインインストール

Autodesk Moldflow Insight では、コマンドライン手順を使用してソフトウェアをインストールできます。

### コマンドラインを使用したインストール ディスクからのインストール

- 1 [スタート]>[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
- 2 [名前] テキスト ボックスに「cmd」と入力します。
- 3 [OK] をクリックします。

---

**注:** Windows Vista ユーザーは、[スタート] をクリックして、[スタート] メニューの下部にある [検索の開始] ダイアログ ボックスに cmd と入力し、CTRL+SHIFT+ENTER キーを押して、管理者としてコマンドプロンプト ウィンドウを開きます。

---

- 4 DVD-ROM ドライブまで移動します。
- 5 {rel}\windows ディレクトリまで移動します。{rel} は現在の Moldflow リリースを表します。

例 : `cd ami2011\windows`

6 実行ファイル名を入力します。

例 : `amipc.exe`

## Autodesk Moldflow Insight コマンドライン インストールのオプション

Autodesk Moldflow Insight インストールには、サイレント インストールの実行およびインストール オプションの設定に使用できるコマンドライン オプションがいくつかあります。

```
amipc.exe[/silent] [/verysilent] [/dir="x:\dirname"] [/userdir="x:\dirname"]  
[/companydir="x:\dirname"] [/tmpdir="x:\dirname"]  
[/mfpsserver="server_name[...]"] [/mfpsdir="x:\dirname"] [/nomfps]
```

### オプション

#### **/silent**

進捗ダイアログが表示されますが、ユーザーに対する質問はありません。

#### **/verysilent**

インストーラは完全にサイレントで、何も表示されません。

#### **/dir**

代替のインストールディレクトリを、引用符"で囲んだ絶対パス名として指定します。

#### **/userdir**

ユーザーのデフォルトのプロジェクト フォルダを、引用符"で囲んだ絶対パス名として指定します。

#### **/companydir**

会社のワークスペース ディレクトリを、引用符"で囲んだ絶対パス名として指定します。

#### **/tmpdir**

一時ディレクトリを、引用符"で囲んだ絶対パス名として指定します。

#### **/mfpsserver**

Autodesk License Manager (Moldflow) ライセンス サーバーとして使用するマシンを、引用符"で囲んだホスト名として指定します。このオプションを使用しない場合は、localhost が使用されます。

## **/mfpsdir**

代替の Autodesk License Manager (Moldflow) インストールディレクトリを、引用符"で囲んだ絶対パス名として指定します。

## **/nomfps**

Autodesk License Manager (Moldflow) のインストールを無効にします。

## **例**

```
amipc.exe /silent  
/mfpsserver="server_1"
```

Autodesk Moldflow Insight 2011 およびセキュリティクライアントアプリケーションをサイレントインストールします。Autodesk License Manager (Moldflow) サーバー名は「server\_1」に設定されます。インストールウィザードが表示されますが、入力には要求されません。

```
amipc.exe /verysilent  
/mfpsserver="server_1"
```

Autodesk Moldflow Insight 2011 およびセキュリティクライアントアプリケーションをサイレントインストールします。Autodesk License Manager (Moldflow) サーバー名は「server\_1」に設定されます。インストールウィザードは表示されません。

```
amipc.exe /verysilent /nomfps  
/dir="C:\my_installation_dir"
```

Autodesk Moldflow Insight 2011 を C:\my\_installation\_dir ディレクトリ内にサイレントインストールします。Autodesk License Manager (Moldflow) アプリケーションはインストールされません。インストールウィザードは表示されません。

# Linux システムへのインストール

# 2

Autodesk Moldflow Insight をインストールする前に、プラットフォームとハードウェアの確認を行ってください。

## サポート Linux プラットフォーム

表 4: サポート Linux プラットフォーム

オペレーティング システム	ビット	ハードウェア プラットフォーム
Red Hat Enterprise Linux 5	64	AMD または Intel x86 ベースの 64 ビット プロセッサ

**注:** Autodesk License Manager (Moldflow) サーバーを UNIX/Linux システムにインストールすることはできません。このため、すべてのクライアントはサーバーを稼動している Windows マシンへアクセスする必要があります。

## Linux プラットフォームのシステム仕様

表 5: Autodesk Moldflow Insight を実行する場合のハードウェアの最小仕様と推奨仕様

システム コンポーネント	最小	推奨
メイン メモリ (RAM)	1 GB	2 GB 以上
仮想メモリ/スワップ容量	500 MB	1 GB 以上
ディスク容量	2 GB	4 GB 以上
CPU 速度	500 MHz	1 GHz 以上

**注:** 使用可能な物理メモリーが大容量であるほど、Autodesk Moldflow Insight のパフォーマンスは向上します。これは大規模モデルの解析において特に顕著です。大規模モデルで冷却ソルバーまたは反りソルバーの使用、または 3D

モジュールのいずれかの頻繁な使用を計画している場合、プロセッサ コア当たり 2 GB の RAM の増設を検討する必要があります。

---

## Linux で必要なサブシステムとシステム パッチ

Autodesk Moldflow Insight では、関連するサブシステムとシステム パッチをインストールする必要があります。

### サブシステム

- C/C++ ランタイム ライブラリ
- Fortran ランタイム ライブラリ (Autodesk Moldflow Insight と共に自動的にインストールされます)。

インストール スクリプトは、これらのサブシステムがあるかを確認し、見つからない場合には警告を表示します。)そのような場合、ハードウェアベンダーに相談して、必要なコンポーネントを入手してください。

### パッチ

Autodesk では、メーカーの推奨するパッチをすべてインストールすることをお勧めします。

**表 6: メーカーの推奨パッチ**

オペレーティング システム パッチの入手先	
Linux (Red Hat)	<a href="http://www.redhat.com/">http://www.redhat.com/</a>

---

## Linux でのハードウェア要件

- DVD-ROM ドライブ

Linux プラットフォーム用の Autodesk Moldflow Insight のソルバーは、ISO 9660 DVD-ROM で配布されます。したがって、ローカル、またはネットワーク上の別マシンに、DVD-ROM ドライブが必要です。

- イーサネット カード

Autodesk Moldflow Insight のソフトウェア セキュリティは、ネットワーク経由でライセンス キーの要求と取得を行います。ライセンス サーバーを一意的に識別するためにネットワーク ハードウェアを使用します。このため、Autodesk Moldflow Insight を実行するすべてのマシンで有効なイーサネット カードが必要となります。

## ディスク容量要件

Autodesk Moldflow Insight で必要となるディスク容量は、実行する解析によって異なります。Autodesk Moldflow Insight クライアントソフトウェアに割り当てる推奨ディスク容量は 150 MB から 300 MB です (Unix 系)。

**注:** インストール処理中は、インストール サイズの約 2 倍のディスク容量が必要になります。Autodesk Moldflow Insight の通常のプロジェクトで要求されるディスク容量は、実行する特定の解析およびモデルのサイズによって異なります。

表 7: 標準的な Autodesk Moldflow Insight 解析のディスク容量要件

解析順序	解析テクノロジー	一時ディレクトリに必要なディスク容量 (概数)
充填+保圧 (20,000 要素モデル)	Midplane	100 MB
充填+保圧+冷却	Midplane	300 MB
充填+保圧+冷却+反り	Midplane	400 MB
充填+保圧 (20,000 要素モデル)	Dual Domain	450 MB
充填+保圧 (300,000 四面体モデル)	3D	900 MB
充填+保圧+冷却	3D	1000 MB <sup>2</sup>

## ソフトウェアをインストールする前に

Autodesk Moldflow Insight のインストール中に障害が発生しないようにするには、いくつかの初期作業を行う必要があります。

### ジョブ マネージャへのアクセス

Linux でファイアウォールを実行する場合、ジョブ マネージャとの通信用に、TCP と UDP のポート 20321 が開かれている必要があります。

### システム バックアップの実行

Autodesk Moldflow Insight ソルバーをインストールする前に、ユーザーまたはシステム管理者はシステムのフルバックアップを行ってください。

<sup>2</sup> すべての 3D 冷却解析は、一時ディレクトリに大量のディスク容量が必要です。

## すべての実行中のジョブの停止

クライアント マシンでジョブ マネージャ機能 ([解析] > [ジョブ マネージャ]) を使用して、現在実行中のシミュレーション ジョブをすべて停止します。  
これで、インストール中に「ファイル使用中」というエラーが発生しなくなります。

## すべての Autodesk Moldflow プログラムの終了

Autodesk Moldflow Insight のインストール開始前に、実行中のすべての Autodesk Moldflow プログラムを終了します。  
これで、インストール中に「ファイルが使用中」というエラーが発生しなくなります。

## Autodesk Moldflow Insight ソルバーがインストール済みであるかの確認

ファイル `/var/adm/moldflow/installations` を開き、そのファイルの中に AMI2011 が存在する場合は、インストール前に、Autodesk Moldflow Insight 2011 の既存バージョンをアンインストールする必要があります。

## Autodesk Moldflow Insight 2011 のプレリリースのアンインストール

- 1 Autodesk Moldflow Insight ソルバーを以前にマシンにインストールした時のユーザーとしてログインします。
- 2 ジョブ マネージャのクライアント サーバー機能を使用して、マシンで現在実行中のジョブがないことを確認します。ジョブ マネージャのクライアント サーバー機能を使用して、マシンで現在実行中の Autodesk ジョブがないことを確認します。  
アンインストール スクリプトによって、現在のマシンのジョブ マネージャが自動的に停止され、現在実行中のすべてのジョブが中止されます。
- 3 root としてログインして、`/var/adm/moldflow/installations` ファイルの `ami2011` リリースに指定されたディレクトリで、スクリプト `bin/mfuninstall` を実行します。
- 4 Autodesk Moldflow Insight 2011 をインストールしている親ディレクトリ (例えば、`/usr/moldflow`) に移動し、`ami2011` ディレクトリとその配下のサブディレクトリを削除します (例えば、`rm -r ami2011`)。

## Linux に Autodesk Moldflow Insight ソルバーをインストールする場合の準備作業

Linux 環境に Autodesk Moldflow Insight ソルバーをインストールする手順は次の通りです。

- 1 Autodesk Moldflow Insight ソルバーのインストール Autodesk Moldflow Insight ソフトウェアのローカルマシンへのインストールには、次の3通りの方法があります。
  - DVD から直接インストール
  - DVD からコピーした tar ファイルからのインストール
  - ネットワーク経由のインストールいずれの場合も、作業手順書が用意されています。
- 2 Autodesk License Manager (Moldflow) のマシンへのインストール
- 3 各 Autodesk Moldflow Insight ユーザー環境の設定

### ローカルインストール

ローカルマシンに Autodesk Moldflow Insight ソルバーをインストールすると、最高のパフォーマンスを得ることができますが、インストールされるソフトウェア用に約 125 MB のディスク容量がローカルマシンに必要となります。

### DVD から直接インストールする場合の準備作業

Autodesk Moldflow Insight ソフトウェアをインストールするには、root としてログインする必要があります。使用している環境が root であることを確認するには、次のコマンドを使用します。

```
su -
```

- 1 Autodesk Moldflow Insight インストール DVD をマウントします。

多くの Linux システムは、DVD-ROM を明示的にマウントしないとアクセスできません。DVD-ROM を DVD-ROM ドライブに挿入してから、次の表に従って、使用しているシステムに対応するマウント コマンドを入力します。

表 8: Linux での DVD マウント コマンドの例

オペレーティング コマンドの例  
システム

Red Hat Enterprise Linux `mount /media/dvdrom`

デバイス名とマウント ポイントは、システム上で異なる場合があります。必要に応じて、実際に使用しているデバイス名とマウント ポイントについて、システム管理者にお問い合わせください。

- 2 次のコマンドを入力して、インストール セットアップ スクリプトを起動します。

`DVDPATH/ami2011/unix/setup`

(`DVDPATH` は DVD-ROM のルート ディレクトリへのパスを指定します)。セットアップスクリプトは、現在使用しているプラットフォームを自動的に検出します。

**注:** ネットワーク経由でソフトウェアをインストールする場合は、ファイル サーバー マシンで次のコマンドを入力します。

`DVDPATH/ami2011/unix/setup -p CODE`

ここで、`DVDPATH` は DVD-ROM のルート ディレクトリへのパスを指定し、`CODE` はファイル サーバーに Autodesk Moldflow Insight ソフトウェアをインストールする際に使用するプラットフォームを指定します。`CODE` のオプションは `lx24ol` です。

[Autodesk Moldflow Insight Setup Installation Menu] が表示されます。

[Linux への Autodesk Moldflow Insight ソルバーのインストール](#) 19 ページの手順を継続して実行します。

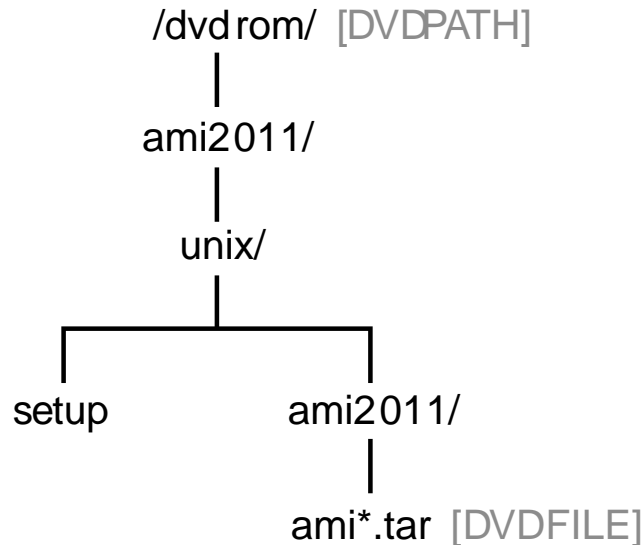
## DVD に含まれる tar ファイルからインストール場合の準備作業

Autodesk Moldflow Insight ソフトウェアをインストールするには、root としてログインする必要があります。使用している環境が root であることを確認するには、次のコマンドを使用します。

```
su -
```

最初に、ソフトウェアのインストール先プラットフォームに対応するアーカイブ ファイル (tar 形式) を、DVD からネットワーク ドライブにコピーし、次に、そのアーカイブを解凍して、ネットワーク ドライブからインストールを実行します。

ファイルの解凍は一度実行するだけでよいため、実行するインストールの数が多い場合は、このインストール方法にメリットがあります。



- 1 必要な DVDFILE を判別します。DVDFILE の場所は上記に示したとおりです。DVDFILE の名前は `ami<コード>.tar` で、<コード> は次に示すように、クライアント マシンに対応するプラットフォーム コードです。

表 9 : Autodesk Moldflow Insight のプラットフォーム <コード>名

ハードウェア プラット フォーム	オペレーティング システム	<コード>
AMD または Intel x86 ベースの 64 ビット プロ セッサ	Red Hat Enterprise Linux 5	lx24ol

- 2 ディレクトリ `/install` をソフトウェアをインストールする親ディレクトリ (`/usr/moldflow` を推奨) に作成します。このディレクトリは、インストール中にファイルを一時的に格納するために使用します。

```
mkdir /usr/moldflow/install
```

- 3 新しく作成したディレクトリ (`/usr/moldflow/install`) に移動します。
- 4 次のコマンドを使用して、`ami<コード>.tar` ファイルを解凍し、`setup.exe` ファイルおよび `setup.inf` ファイルを抽出します。この解凍処理には数分かかる場合があります。

```
tar xvof ami<コード>.tar setup.exe setup.inf
```

- 5 インストール ディレクトリにある setup.exe スクリプトを実行します。

```
./setup.exe
```

[Linux への Autodesk Moldflow Insight ソルバーのインストール](#) 19 ページの手順を継続して実行します。

## tar ファイルをダウンロードしてインストールする場合の準備作業

Autodesk Moldflow Insight ソフトウェアをインストールするには、root としてログインする必要があります。使用している環境が root であることを確認するには、次のコマンドを使用します。

```
su -
```

- 1 ディレクトリ `/usr/moldflow/install` を作成します。このディレクトリは、インストール中にファイルを一時的に格納するために使用します。

```
mkdir /usr/moldflow/install
```

- 2 `/usr/moldflow/install` ディレクトリに移動します。
- 3 次のコマンドを使用して、<ダウンロードした tar ファイル> を解凍し、setup.exe ファイルおよび setup.inf ファイルを抽出します。この解凍処理には数分かかる場合があります。

```
tar xvof <ダウンロードした tar ファイル> setup.exe setup.inf
```

- 4 インストール ディレクトリにある setup.exe スクリプトを実行します。

```
./setup.exe
```

[Linux への Autodesk Moldflow Insight ソルバーのインストール](#) 19 ページの手順を継続して実行します。

## ネットワーク インストール

多くのユーザーは、1 台のマシン (ファイル サーバー) に Autodesk Moldflow Insight ソフトウェアをインストールし、NFS マウント ディスクを介して、ネットワーク内の他のマシン (クライアント マシン) でソルバーを実行しています。

ファイル サーバーへの Autodesk Moldflow Insight ソフトウェアのインストール後、クライアント マシンを設定する場合、Autodesk Moldflow Insight のインストールスクリプトの起動方法は、ローカルマシンにインストールした場合は異なります。この手順の作業指示は、[ファイル サーバーを利用したクライアント マシンの設定](#) 21 ページ を参照してください。

## 既存インストールをコピーしてインストール

Autodesk Moldflow Insight ソフトウェアをインストールするには、root としてログインする必要があります。使用している環境が root であることを確認するには、次のコマンドを使用します。

```
su -
```

Autodesk Moldflow Insight がすでにインストールされているマシンから、Autodesk ディレクトリ構造をコピーすることにより、2 台目のマシンに Autodesk Moldflow Insight をインストールすることができます。Autodesk Moldflow Insight をコピーして 2 台目のマシンにインストールする手順は次の通りです。

以下に示す例では、`/usr/moldflow` にある `host1` にインストールされていると仮定しています。Autodesk Moldflow Insight を異なる場所にある `host2` にコピーします。

---

**注:** `host 2` は、システム ハードウェア要件とオペレーティングシステム要件をすべて満たす必要があります。

---

- 1 root として 2 台目のマシンにログインします。

```
rlogin host2 -l root
```

- 2 インストールディレクトリを作成して、そのディレクトリに移動します。

```
mkdir /usr/local/moldflow
```

```
cd /usr/local/moldflow
```

- 3 ディレクトリ構造をコピーします。

```
rcp -p -r host1:/usr/moldflow/ami2011 .
```

- 4 2 台目のマシンで `mfclient` スクリプトを実行します。

```
./usr/moldflow/ami2011/bin/mfclient
```

ステップ 4 で開始するクライアントのインストール手順に関しては、[Linux への Autodesk Moldflow Insight ソルバーのインストール](#) 19 ページ を参照してください。クライアント インストールが完了したら、ユーザーは 2 台目のマシンで Autodesk Moldflow Insight を実行できます。

## Linux への Autodesk Moldflow Insight ソルバーのインストール

- 1 メニュー項目に関連する番号を入力して、[Autodesk Moldflow Insight—Solvers Only] を選択します。
- 2 メニュー項目 [Install Selected Products] に対応する番号を入力します。
- 3 CD-ROM からインストールするかどうかを選択します。
  - 「y」を入力した場合、使用するプラットフォームに対応する tar ファイルの名前を入力する必要があります。

表 10: プラットフォームに対応する tar ファイル

ハードウェア プラット フォーム	オペレーティング システム	ファイル名
AMD または Intel x86 ベースの 64 ビット プロ セッサ	Red Hat Enterprise Linux 5	amilx24ol.tar

- 「n」を入力した場合、tar ファイルのパスと名前を入力を要求するプロンプトが表示されます。この情報を入力して、**Enter** キーを押します。
- これで、インストール スクリプトが、ファイルの読み込みと解凍を行います。この処理には、マシンの速度、さらに DVD からインストールする場合は DVD-ROM ドライブの速度に応じて、少し時間がかかる場合があります。
- 4 Autodesk クライアント マシン セットアップをインストールするか選択します。

**注:** これにより、Autodesk クライアント マシンは、クライアント マシンに Autodesk のジョブ マネージャをインストールし、一時ディレクトリの場所を設定して、いくつかの環境変数に値を設定できます。

- Autodesk のクライアント マシンのセットアップ スクリプトをすぐに起動する場合は「y」を入力します。Autodesk Moldflow Insight ソルバーのインストールの残りの手順を完了します。

- クライアントのセットアップスクリプトを後で手動で起動する場合は「n」を入力します。[Autodesk Moldflow Insight Setup Installation Menu]に戻り、Autodesk Moldflow Insight ソルバーのインストールの残りの手順を実行する必要はありません。

---

**注:** クライアントのセットアップスクリプトを後で実行するには、「`/usr/moldflow/ami2011/bin/mfclient`」と入力します。

---

- 5 一時ファイル ディレクトリの場所を選択します。

現在使用中のマシンで解析が実行されるたびに、Autodesk Moldflow Insight のジョブマネージャによって、一時ファイルがここに書き込まれます。最適なパフォーマンスを得るには、ネットワークドライブではなく、ローカルドライブを選択することが重要です。必要な一時容量の大きさは、主に、解析対象のモデルのサイズや複雑さ、同時に実行されるシミュレーションの数、およびシミュレーションが起動される頻度に左右されます。ディスク容量が最低でも数ギガバイトある一時ディレクトリを選択してください。

---

**注:** 多くの Linux システムでは、ジョブマネージャの一時ディレクトリとして使用するのに十分な容量が `/tmp` ディレクトリにありません。使用可能なディスク容量のチェックには十分注意してください。

---

- 6 一時ディレクトリの場所をデフォルト (`/tmp`) に確定する場合は「y」、別のディレクトリを指定する場合は「n」を入力します。

---

**注:** ジョブマネージャの一時ディレクトリの場所は、いつでも変更できます。これを行うには、クライアントマシンで root としてログインして、ジョブマネージャを停止します。 (`/var/adm/moldflow/` ディレクトリ内の `./ami2011jmrc stop`)。 `/var/adm/moldflow/` ディレクトリにある `ami2011jm_perhost_vars.ksh` ファイルの `MFSYN_TMP` 変数を編集し、ジョブマネージャを再起動します (`/var/adm/moldflow/` ディレクトリ内の `./ami2011jmrc start`)。

---

代替ディレクトリを選択した場合は、指定したディレクトリで使用可能なディスク容量が表示され、続行前に確認するように要求されます。

セットアップスクリプトがジョブマネージャを再起動したら、Autodesk クライアントマシンへの Autodesk Moldflow Insight ソルバーのセットアップは完了です。

## Autodesk License Manager (Moldflow) のインストール

製品をインストールすると Autodesk License Manager (Moldflow) は自動的にインストールされます。このインストール中にライセンス サーバーのホスト名または IP アドレスの入力を求められます。TCP/UDP ポート 6014 を使用してライセンス サーバーと通信ができる必要があります。

---

**注:** Autodesk License Manager (Moldflow) サーバーを UNIX/Linux システムにインストールすることはできません。このため、すべてのクライアントはサーバーを稼動している Windows マシンへアクセスする必要があります。

---

## ファイルサーバーを利用したクライアントマシンの設定

- 1 必要なソフトウェア コンポーネントをファイル サーバーにインストールした後、他の Autodesk クライアント マシンを設定する場合は、次の手順を実行して Autodesk Moldflow Insight サーバーをインストールしているファイル サーバーにディレクトリをマウントする必要があります。次に、Autodesk クライアントとして動作する各マシンで、**mfclient** スクリプトを手動で起動します。

---

**注:** ソフトウェアをローカルにインストールした場合は、ネットワーク内の同じプラットフォームの別マシンから、このマシンを Autodesk ファイル サーバーとして使用できます。つまり、Autodesk ファイル サーバーの構成に関係なく、いつでもファイル システムをマウントして他の Autodesk クライアント マシンを設定できます。

---

- 2 インストール ディレクトリをマウントして **mfclient** スクリプトを手動で起動するには、クライアント マシンに root としてログインする必要があります。
- 3 ディレクトリ <サーバー名>:/usr/moldflow/ami2011 を、現在使用中のマシンにマウントします。  
例えば、ファイル サーバーのホスト名が hawk で、ソフトウェアが /usr/moldflow/ami2011 にインストールされている場合は、次のコマンドを入力します。

```
mount hawk://usr/moldflow/ami2011 /usr/moldflow/ami2011
```

---

**注:** ソフトウェアをマウントするディレクトリパスは、同じプラットフォームのすべての Autodesk クライアント マシンで同一である必要があります

す。これは、MFENV.csh ファイルまたは MFENV.sh ファイルの設定に、このパスが含まれるためです。

- 4 ディレクトリ `/usr/moldflow/ami2011/bin` に移動し、次のように入力して `mfclient` スクリプトを起動します。

```
./mfclient
```

- 5 `mfclient` スクリプトは次のプロンプトを表示して、続行するかどうかを確認します。「Do you wish to proceed with the **Autodesk** Client Machine setup?(Autodesk クライアント マシンの設定を続行しますか) (y/n) [yes]:」
- 6 「y」を入力して続けます。

スクリプトは、必要なオペレーティング システム コンポーネントおよびパッチをチェックし、Autodesk Moldflow Insight に関連するスクリプト ファイルを設定します。

ジョブ マネージャ経由でなくコマンドラインから Autodesk Moldflow Insight ソルバーを実行する場合は、各ユーザーの環境を設定する必要があります。

## 各ユーザーの環境設定

各 Autodesk Moldflow Insight ユーザーの環境には、Autodesk Moldflow Insight が正常に機能できるように、PATH などの環境変数を含める必要があります。

### C シェル ユーザーの環境設定

- 1 ユーザーのホーム ディレクトリにある `.cshrc` ファイルを、テキスト エディタで開きます。
- 2 Autodesk Moldflow Insight の旧リリースまたは Dynamic Series の環境変数が存在する場合は削除します。
- 3 次の行をファイルの一番下に追加します。

```
source /usr/moldflow/ami2011/data/MFENV.csh
```

- 4 `.cshrc` ファイルの変更を保存して、エディタを終了します。
- 5 次のように入力して、`.cshrc` ファイルを読み込みます。

```
source .cshrc
```

## Bourne シェルおよび Korn シェル ユーザーの環境設定

- 1 ユーザーのホーム ディレクトリにある **.profile** ファイルを、テキスト エディタで開きます。
- 2 Autodesk Moldflow Insight の旧リリースまたは Dynamic Series の Autodesk Moldflow 環境変数が存在する場合は削除します。
- 3 次の行をファイルの一番下に追加します。

```
./usr/moldflow/ami2011/data/MFENV.sh
```

---

**注:** 行の先頭にあるドットと空白文字 (.) は不可欠です。このドットは、実際には、C シェルの **source** コマンドに類似したシェルコマンドです。

---

- 4 **.profile** ファイルの変更を保存して、エディタを終了します。
- 5 次のように入力して、**.profile** ファイルを読み込みます。

```
../profile
```

# ライセンス

# 3

Autodesk Moldflow ソフトウェアは Autodesk License Manager (Moldflow) で管理するフローティング ライセンス システムを使用します。

Autodesk Moldflow Adviser などのライセンスを必要とする製品をインストールすると、Autodesk License Manager (Moldflow) ソフトウェアのインストールは自動的に開始されます。DVD インストール メニューから直接インストールすることもできます。このソフトウェアの設定は、次のいずれかのオプションを選択できます。

**クライアントとサーバー** このオプションは、現在のマシンにライセンス キーを登録する場合にのみ選択し、クライアントに加えてライセンス サーバーをインストールします。ライセンスサーバーでは、ローカルおよびネットワーク上のクライアントに利用可能なライセンスへのアクセスを許可するために、追加の設定が必要となります。

**クライアントのみ** このオプションは、Autodesk License Manager (Moldflow) サーバーがネットワーク上の別の場所に既に設定されている場合に選択します。ライセンスを必要とする Autodesk Moldflow 製品を実行するすべてのマシンに、クライアントをインストールする必要があります。

Autodesk License Manager (Moldflow) ソフトウェアのスタンドアロン インストールは Windows マシンのみで実行可能です。Linux 環境に製品をインストールすると、クライアントが自動的にインストールされます。

## ライセンス機能

Autodesk Moldflow Insight で使用できる機能は、Autodesk License Manager (Moldflow) サーバーで利用可能なライセンスによって決定されます。

次にライセンス タイプを機能が少ないものから順番に示します。

- **Autodesk® Moldflow® Synergy**
- **Autodesk® Moldflow® Insight Basic**
- **Autodesk® Moldflow® Insight Performance**
- **Autodesk® Moldflow® Insight Advanced**

解析などの操作を実行する際、Autodesk License Manager (Moldflow) クライアントは操作に最低限必要なレベルのライセンスを要求します。最低限レ

ベルのライセンスが Autodesk Moldflow Insight Synergy の場合、この操作でアプリケーション自体の実行ができます。最低限レベルのライセンスが利用できない場合は、クライアントはより高いレベルのライセンスを確保しようと試みます。

インストールされていないライセンスを必要とする操作を実行した場合、このライセンスの入手を求めるメッセージが表示されます。他のクライアントで使用中等であるために、必要なライセンスが使用できない場合は、「ライセンスがありません」というメッセージが表示されます。

---

**注:** Autodesk Moldflow Insight Synergy ライセンスでは、プリ/ポストプロセス作業のみが実行可能です。

---

## ライセンス サーバーの設定

### ライセンス キーの取得

---

**重要:** 複数の Autodesk Moldflow 製品のシリアル番号がある場合、製品ごとに登録手続を行う必要があります。各シリアル番号を登録する度に、新しいライセンス ファイルが発行されます。

---

#### 製品の登録

- 1 インターネット接続と稼動しているウェブ ブラウザが必要です。
- 2 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [Autodesk] > [License Manager (Moldflow)] > [Activate Licenses] の順にクリックします。

---

**注:** 登録は Autodesk License Manager (Moldflow) インストール ウィザードの終了時に、[Activate licenses online] チェックボックスを選択して実行することもできます。

---

Autodesk 製品登録ページがブラウザ ウィンドウに表示されます。Autodesk ユーザー ID とパスワードでログインします。Autodesk ユーザー ID をお持ちではない場合は、ログインページの手順に従って作成します。

- 3 プロンプトに従って、ライセンス キーを取得します。  
下表には、登録手続に必要な情報の取得方法を示しています。

情報	取得方法
製品シリアル番号	通常、DVD ケースの裏に表示されています。

情報	取得方法
----	------

ネットワーク サーバー タイプ	単一サーバーまたは分散サーバーのいずれかを選択します。冗長サーバーは、Autodesk License Manager (Moldflow) ソフトウェアではサポートされていません。
-----------------	---

**注:** 分散サーバーを使用することで、ライセンス プールを複数の異なるライセンスサーバーに分割できますが、Autodesk License Manager (Moldflow) は一度に 1 つのライセンスサーバーのみを指すことができます。

サーバー ホスト名	[スタート]メニューから、[すべてのプログラム]>[Autodesk]>[Network License Manager]>[LMTOOLS]の順にクリックし、[System Settings] タブを選択、[Computer/Hostname] フィールドにあるテキストを使用します。
-----------	---

サーバー ID	[スタート]メニューから、[すべてのプログラム]>[Autodesk]>[Network License Manager]>[LMTOOLS]の順にクリックし、[System Settings] タブを選択、[Ethernet Address] フィールドにあるテキストを使用します。
---------	--

**注:** 複数の ID が空白で区切られている場合、主要 (物理) ネットワーク アダプターに対応する ID を選択する必要があります。詳細なヘルプ情報は、[適切なサーバー ID の検出 32 ページ](#) を参照してください。

- 4 生成されたライセンス ファイルをローカル ディレクトリに保存します。次のディレクトリを使用することを推奨します。C:\Program Files\Autodesk Network License Manager\License

**注:** Windows 64 ビット版を使用している場合、次のパスを使用します。C:\Program Files (x86)\Autodesk Network License Manager\License

- 5 他の製品に関しても、シリアル番号を使用して上記の登録手順を繰り返します。複数のライセンス ファイルがある場合は、個別に保存して最終的に単一のライセンス ファイルに結合します。詳細なヘルプ情報は、[ライセンス ファイルの統合 33 ページ](#) を参照してください。

**重要:** ライセンス ファイルの編集には、**メモ帳**を使用することを推奨します。ワードパッドなど他のテキスト エディタは、これらのファイルを破損する可能性があります。

ライセンス キーの取得完了後は、Autodesk License Manager (Moldflow) サーバー ソフトウェアの設定を行う必要があります。Autodesk FlexLM ライセンス サーバーを既に設定していて、新規ライセンスをインストールする場

合のヘルプ情報に関しては、[既存ライセンス サーバーへの新規ライセンスのインストール](#) 29 ページを参照してください。

## 新規ライセンス サーバーの設定

この作業を実行するには、ライセンス ファイル (.lic) を取得しておく必要があります。

---

**重要:** クライアントおよびサーバーがポート 6014 で TCP/UDP を介して通信できることを確認します。Windows でポートを開く方法に関しては、<http://www.autodesk.com/adlm-help-jp> を参照してください。サードパーティ製のパーソナル ファイアウォールを使用している場合は、それに付属するドキュメンテーションを参照してください。

---

### ライセンス サーバーの設定

- 1 管理者権限を使用してログインします。
- 2 LMTOOLS ユーティリティを開きます。

**Windows XP およ  
び Windows  
Server 2003 :** [スタート] > [すべてのプログラム] > [Autodesk]  
> [Network License Manager] > [LMTOOLS] を選  
択します。

**Windows Vista、  
Windows Server  
2008、および  
Windows 7 :** Windows エクスプローラのウインドウを開きます  
([スタート] > [コンピュータ])。  
C:\Program Files\Autodesk Network License  
Manager に移動します。

---

**注:** Windows 64 ビット版を使用している場合は、  
次のパスを使用します。C:\Program Files  
(x86)\Autodesk Network License Manager

---

[lmtools] アイコンを右クリックし、[管理者とし  
て実行] を選択します。

---

**注:** [管理者として実行] を使用して LMTOOLS ユー  
ティリティを開くことにより、コンピュータの再  
起動後に、ライセンス サーバーへの変更が確実に  
保持されます。

---

- 3 [Service/License File] タブで、[Configuration using Services] オプショ  
ンを選択していることを確認します。
- 4 [Config Services] タブを選択します。

- 5 このサービスの新しい名前を **[Service Name]** フィールドに入力し、**[Save Service]** ボタンをクリックします。

---

**注:** 他のメーカーのソフトウェアに、FlexLM サービスが設定されている可能性があります。Autodesk 製品には、一意のサービス名が必要です。

---

**ヒント:** サービス名に **Autodesk** という名前を挿入することで、後で識別が容易になります。

---

- 6 **[Path to the lmgrd.exe file]** フィールドの横の **[Browse]** をクリックします。**C:\Program Files\Autodesk Network License Manager** に移動します。「lmgrd.exe」を選択し、**[開く]** をクリックします。

---

**注:** Windows 64 ビット版を使用している場合は、次のパスを使用します。**C:\Program Files (x86)\Autodesk Network License Manager**

---

- 7 **[Path to the license file]** フィールドの横の **[Browse]** をクリックし、登録手順でライセンス ファイルを保存したディレクトリまで移動します。ライセンス ファイルを選択し、**[開く]** をクリックします。
- 8 **[Path to debug log file]** フィールドの横の **[Browse]** をクリックし、ログ ファイルを保存するディレクトリを選択します。デフォルトのインストール ディレクトリ、**C:\Program Files\Autodesk Network License Manager** を選択することを推奨します。

---

**注:** Windows 64 ビット版を使用している場合は、次のパスを使用します。**C:\Program Files (x86)\Autodesk Network License Manager**

---

- 9 拡張子 **.log** を追加したログ ファイル名を入力し、**[開く]** をクリックします。
- 10 **[Use Services]** チェックボックスを選択していることを確認します。
- 11 **[Start Server at Power Up]** チェックボックスを選択していることを確認します。
- 12 **[Save Service]** をクリックします。
- 13 表示されたダイアログ ボックスで **[OK]** をクリックします。
- 14 LMTOOLS ユーティリティを閉じて、コンピュータを再起動します。

これで、サーバーは、選択したライセンス ファイルで定義したライセンスを使用するクライアントに応答するように設定されました。

---

**注:** 後日、ライセンス ファイルを変更した場合は、コンピュータを再起動する必要があります。再起動後、ライセンス サーバーが利用可能なライセンスを登録するのに最低 20 秒間待ちます。

---

---

**ヒント:** トラブルシューティング情報に関しては、  
<http://www.autodesk.com/adlm-help-jp> を参照してください。

---

## 既存ライセンス サーバーへの新規ライセンスのインストール

Autodesk Moldflow ライセンスを、既存の Autodesk FlexLM ライセンス サーバー (単一または分散サーバー モデルを使用) にインストールすることができます。

---

**重要:** Autodesk License Manager (Moldflow) 2011 サーバー ソフトウェアが、既存のライセンス サーバーにインストールされていることを確認してください。これにより、Autodesk Moldflow Proxy Server (amfpsd.exe) の最新バージョンがインストールされます。ライセンスサーバーの操作に関する詳細は、[Autodesk License Manager \(Moldflow\) サーバー/クライアント モデル 34 ページ](#) を参照してください。

---

Autodesk Moldflow 2011 ライセンスは、旧バージョンのサーバーとの互換性はありません。Autodesk Moldflow 2011 ライセンスは、サーバー ソフトウェアのアップグレードとの互換性を保持します。

インストールを続行するには、新規ライセンス ファイル (.lic) をオンライン登録で取得し、ローカル ディレクトリに保存する必要があります。

- 1 既存のライセンス ファイルの保存場所を確認します。
  - a LMTOOLS ユーティリティ ([スタート]>[すべてのプログラム]>[Autodesk]>[Network License Manager]>[LMTOOLS]) を開き、[Config Services] タブを選択します。
  - b [Service Name] ドロップダウンメニューから、既存の Autodesk FlexLM サービス名を選択します。

---

**ヒント:** 複数のサービス名がリストにある場合は、[Path to the lmgrd.exe file] フィールドを使用して、Autodesk FlexLM サービスに対応するサービス名を特定します。デフォルトのインストールパスは、次のようになります。

- C:\Program Files\Autodesk Network License Manager\lmgrd.exe (32 ビット)
  - C:\Program Files (x86)\Autodesk Network License Manager\lmgrd.exe (64 ビット)
- 

ライセンス ファイルの保存場所は、[Path to the license file] フィールドに表示されます。

- 2 既存のライセンス ファイルをメモ帳で開き、新規ライセンス ファイルからコピーしたテキストを新しい行に追加します。

詳細なヘルプ情報は、[ライセンス ファイルの統合](#) 33 ページ を参照してください。

- 3 既存のライセンス ファイルへの変更を保存します ([ファイル]>[保存])。
- 4 コンピュータを再起動します。

---

**注:** 再起動後、ライセンス サーバーが利用可能なライセンスを登録するのを最低 20 秒間待ちます。

---

---

**ヒント:** トラブルシューティング情報に関しては、<http://www.autodesk.com/adlm-help-jp> を参照してください。

---

# ライセンス補足情報

# A

## シリアル番号

複数の製品を購入している場合、各製品に対してシリアル番号を受け取ります。Autodesk Moldflow ソフトウェアを購入された場合、購入された各製品に対して、固有のシリアル番号を有する個別の DVD が配送されます。

**重要:** 製品のライセンスを取得するには、各製品のシリアル番号に対してオンライン登録を行う必要があります。次に、これらの複数のライセンスを 1 つのライセンス ファイルに統合する必要があります。詳細は [ライセンス ファイルの統合](#) 33 ページ を参照してください。

下図は DVD ラベルの例を示しています。シリアル番号は [S/N] 欄で確認できます。

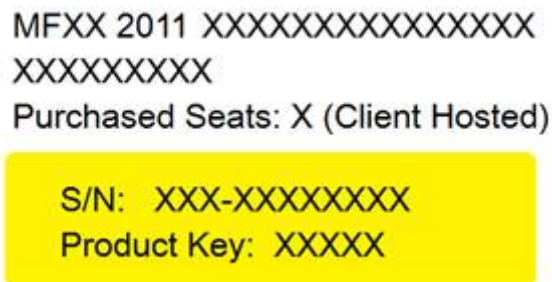


図 1: Autodesk Moldflow DVD ラベル

このラベルの左上隅にあるコードは、このシリアル番号に関連する製品を示します。

表 11: Autodesk Moldflow 製品コード

コード	製品
MFAD	Autodesk Moldflow Adviser Design
MFAM	Autodesk Moldflow Adviser Manufacturing

コード	製品
MFAA	Autodesk Moldflow Adviser Advanced
MFS	Autodesk Moldflow Insight Synergy
MFIB	Autodesk Moldflow Insight Basic
MFIP	Autodesk Moldflow Insight Performance
MFIA	Autodesk Moldflow Insight Advanced
MFCB	Autodesk Moldflow CAD Doctor
MFDLPROE	Autodesk Moldflow Design Link for Pro/ENGINEER
MFDLPARA	Autodesk Moldflow Design Link for Parasolid
MFDLCATIA	Autodesk Moldflow Design Link for CATIA V5

## 適切なサーバー ID の検出

サーバー ID は、イーサネットまたは WiFi などの物理ネットワーク アダプターに与えられる固有のアドレスです。VPN (Virtual Private Network) または VM (Virtual Machine) などのソフトウェアを実行する場合は、論理サーバー ID が存在することもあります。オンライン登録時にサーバー ID を求められた場合は、物理ネットワーク アダプターに対応するサーバー ID を選択することが重要です。

**注:** ここで、サーバー ID とは、ホスト ID、物理アドレス、およびイーサネットアドレスと同じです。

- 1 Windows コマンド プロンプトを開きます ([スタート] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [コマンド プロンプト])。
- 2 「ipconfig /all」と入力し、Enter キーを押します。マシンのすべてのネットワーク アダプターに関する情報が一覧表示されます。
- 3 主要ネットワーク接続として機能するアダプターを見つけます。登録時のサーバー ID として、この [Physical Address] (物理アドレス) (ハイフンで区切らない) を使用します。例えば、[Physical Address] (物理アドレス) フィールドに「00-1A-4D-45-08-B2」と表示されている場合、「001A4D4508B2」と入力します。

**ヒント:** [Description] (説明) フィールドは、主要ネットワーク接続を特定するのに使用します。

## ライセンス ファイルの統合

Autodesk License Manager (Moldflow) サーバーの FlexLM コンポーネントでは、すべての利用可能なライセンス キーを単一のファイルに統合しておく必要があります。

次の手順は、オンライン登録で生成したライセンス ファイルの統合方法を説明しています。また、同じ方法を使用して、新規ライセンスを既存の Autodesk ライセンス ファイルに追加できます。

---

**注意:** ライセンス ファイルは、メモ帳などのシンプルテキスト エディタで編集する必要があります。リッチ テキスト エディタや Unix の改行コードによって、ライセンス ファイルが破損する可能性があります。

---

- 1 **Windows エクスプローラ**で、ライセンス ファイルを保存したディレクトリに移動します。
- 2 各ファイルを**メモ帳**で開きます (**右クリック** > **[プログラムから開く]** > **[Notepad]**)。
- 3 **メモ帳**のウィンドウの上部で **[ファイル]** > **[名前をつけて保存]** を選択します。
- 4 ライセンス ファイルに新しい名前を付けて (「master.lic」など)、**[保存]** をクリックします。  
この後のステップでは、このファイルをマスター ライセンス ファイルと呼びます。
- 5 残りの**メモ帳**のウィンドウで、「INCREMENT」または「PACKAGE」(最初に表示される方)を含む行を探します。この行からのテキストをコピーして、マスター ライセンス ファイルの新しい行に貼り付けます。

---

**注:** マスター ライセンス ファイルには空白の行がないことを確認します。

---

次は 2 つのライセンス ファイルを結合したマスター ライセンス ファイルの例を示しています。

```
SERVER XXHP0528 0019bbd68993
USE_SERVER
VENDOR adskflex port=2080
INCREMENT 57600ACD_2009_0F adskflex 1.000 permanent 5 \
VENDOR_STRING=commercial:permanent BORROW=4320 SUPERSEDE \
DUP_GROUP=UH ISSUED=09-Jan-2008 SN=123-12345678 SIGN="1393 \
E368 816E D417 C1CD 7DBD 7B90 1354 D6F0 48FE EBB8 9C84 C3AF \
7D79 BEE1 0181 0655 76FF 996C B707 14B5 D4DE A3FE 0B2D 2D36 \
057C A579 7866 26BF 44E2" SIGN2="1280 943B 53A7 9B93 E00B D967\
D821 BD37 BE6D B78A F074 B223 88AA 242C DD0A 1292 D56F 4108 \
62CD FA35 E365 0736 A011 7833 8B35 7BFF DAD8 34A8 452F 2EB4"
INCREMENT 54600ACD_2008_0F adskflex 1.000 permanent 3 \
VENDOR_STRING=commercial:permanent BORROW=4320 SUPERSEDE \
DUP_GROUP=UH ISSUED=09-Jan-2008 SN=123-12345678 SIGN="1E6E \
4B61 5712 4766 92A0 6782 9EF4 3F47 56A1 1F38 6DE8 C0C7 90AC \
7289 152E 0EA2 CC0D 3F10 577A 0489 CEB6 10D5 FBCC B552 0C9D \
5966 91A6 59F0 2788 FACE" SIGN2="1DDF 3B9D 3392 71D5 AB08 7E05\
```

```
8497 111E 092F 0E54 8DC2 2BED 17C2 2CC1 981B 0EC2 BC15 8F00 \
C79A ABFD 2136 BABA 2EDF E941 EA53 32C6 597F F805 5A8A 599A"
```

この作業が完了したら、マスターライセンスファイルを保存します ([ファイル] > [保存])。

ライセンス サーバーの設定時には、新しく作成されたマスター ライセンスファイルを使用する必要があります。

## Autodesk License Manager (Moldflow) サーバー/クライアント モデル

次は Autodesk License Manager (Moldflow) サーバー/クライアント モデルの図解です。

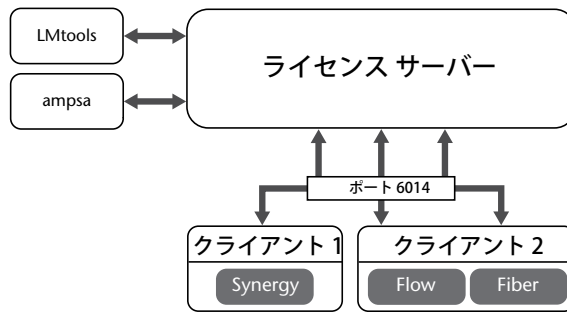


図 2: サーバー/クライアント図

サーバーの設定には、次のコンポーネントを使用できます。

**LMtools** FlexLM サーバー コンポーネント設定用ユーティリティ ([スタート] > [すべてのプログラム] > [Autodesk] > [Network License Manager] > [LMTOOLS])

**ampsa** Autodesk Moldflow Proxy Server を実行中のローカル マシンまたはリモート マシン上の利用可能なライセンス監視用ユーティリティ ([スタート] > [すべてのプログラム] > [Autodesk] > [License Manager (Moldflow)] > [Proxy Server Monitoring])

**ポート 6014** amfpsd.exe とクライアント ソフトウェア間の通信に使用する外部ポート。このポートを変更するには、サーバーおよびクライアントの両方で、次のシステム環境変数を設定します。

```
MPSADLMPORT
```

## ヘルプ情報の取得

サポートチームへのお問い合わせの前に、次のようなオンラインリソースでライセンスに関するヘルプ情報を確認することができます。

- **Autodesk License Manager (Moldflow) に関するトラブルシューティング** : <http://www.autodesk.com/adlm-help-jp>
- **Autodesk サポート** : <support.autodesk.com>
- **Autodesk ディスカッション グループ (英語)** : <discussion.autodesk.com/forums>
- **Autodesk サブスクリプション センター** : <subscription.autodesk.com>

ライセンスの問題に関してサポートに連絡する場合は、診断レポートを添付することを推奨します。

診断レポートの作成方法

- 1 **Windows エクスプローラ**で、Autodesk License Manager (Moldflow) インストール ディレクトリに移動します。

---

**ヒント:** デフォルトのインストール パスは、次のようになります。

- **C:\Program Files\Autodesk\License Manager (Moldflow)** (32 ビット)
- **C:\Program Files (x86)\Autodesk\License Manager (Moldflow)** (64 ビット)

- 2 「adlmdiag.bat」というファイルを見つけ、ダブル クリックして実行します。

---

**注:** Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7 では、ファイルを右クリックして **[管理者として実行]** を選択する必要があります。

---

コマンド ウィンドウが表示され、Autodesk FlexLM サービス名の入力が求められます。

- 3 Autodesk FlexLM サービス名を入力し、**Enter** キーを押します。  
Autodesk FlexLM サービス名は、[新規ライセンスサーバーの設定](#) 27 ページの手順 5 で設定した名前です。  
これにより、診断レポート (adlm\_info.txt) が同じディレクトリに生成されます。

ライセンスの問題についてのお問い合わせは、この診断レポートを添えて Autodesk Moldflow サポート チームまでご連絡ください。サポートの窓口は、ご購入先により異なりますので、担当営業にご確認ください。

# 最低限のライセンス要件

# B

次の表は、各解析タイプと一般的な操作に最低必要なライセンスの一覧です。

解析タイプ / 操作	Autodesk Moldflow Adviser	Autodesk Moldflow Insight
Synergy (GUI) を開く	Design	Synergy
結果の表示	Design	Synergy
モデルの生成	Design	Synergy
レポートの作成	Design	Synergy
充填解析	Design	Basic
ゲート位置解析	Design	Basic
モールディング ウィンドウ解析	Design	Basic
冷却品質解析	Design	適用せず
設計アドバイザ解析	Design	適用せず
ヒケ解析	Design	適用せず
Midplane 解析テクノロジー	適用せず	Basic
Dual Domain 解析テクノロジー	Design	Basic
3D 解析テクノロジー	Manufacturing	Basic
ランナー アドバイザ解析	Manufacturing	適用せず
ランナーバランス解析	Manufacturing	Basic
モデルのメッシュ生成	適用せず	Basic
リアクティブ成形	適用せず	Basic
マルチバレル	適用せず	Basic
RTM/SRIM	適用せず	Basic
実験計画法解析	適用せず	Basic
オーバーモールディング	適用せず	Basic
充填+保圧解析	Advanced	Basic
冷却解析	Advanced	Performance

解析タイプ / 操作	Autodesk Moldflow Adviser	Autodesk Moldflow Insight
反り解析	Advanced	Performance
収縮解析	適用せず	Performance
コア シフト解析	適用せず	Performance
応力解析	適用せず	Performance
繊維配向	適用せず	Performance
成形プロセス最適化解析	適用せず	Performance
半導体封止成形	適用せず	Performance
リアクティブ射出圧縮	適用せず	Performance
アンダーフィル封止成形	適用せず	Performance
Autodesk Algor シミュレーション インターフェース	Advanced	Performance
Autodesk Moldflow Structural Alliance インターフェース	Advanced	Performance
構造解析インターフェース	適用せず	Performance
パドル シフト解析	適用せず	Performance
ダイナミック パドル シフト解析	適用せず	Performance
ワイヤー スリーブ解析	適用せず	Performance
複屈折解析	適用せず	Advanced
ガスアシスト成形	適用せず	Advanced
MuCell	適用せず	Advanced
射出圧縮	適用せず	Advanced
コインジェクション	適用せず	Advanced